



## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月8日

上場会社名 アシードホールディングス株式会社  
 コード番号 9959 URL <https://www.aseed-hd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河本 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画グループ (氏名) 川崎 弘敬

TEL 084-923-5552

定時株主総会開催予定日 2020年6月24日

配当支払開始予定日

2020年6月25日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	25,496	8.9	558	16.7	656	9.3	353	29.5
2019年3月期	27,976	2.0	670	20.5	723	16.4	501	30.7

(注) 包括利益 2020年3月期 400百万円 (8.2%) 2019年3月期 436百万円 (21.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年3月期	28.55		7.0	4.4	2.2
2019年3月期	40.52	40.46	10.6	4.9	2.4

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 66百万円 2019年3月期 48百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期	14,978	5,156	34.4	416.47
2019年3月期	14,766	4,891	33.1	395.08

(参考) 自己資本 2020年3月期 5,155百万円 2019年3月期 4,891百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	844	1,526	258	731
2019年3月期	1,534	565	756	1,161

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年3月期		5.00		5.00	10.00	123	24.7	2.6
2020年3月期		6.00		6.00	12.00	148	42.0	3.0
2021年3月期(予想)		6.00		6.00	12.00			

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大が当社グループに与える影響を、現時点では合理的に把握することが困難であるため、未定としております。今後、連結業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	13,495,248 株	2019年3月期	13,495,248 株
期末自己株式数	2020年3月期	1,115,225 株	2019年3月期	1,115,225 株
期中平均株式数	2020年3月期	12,380,023 株	2019年3月期	12,380,037 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	645	2.1	171	25.4	265	20.9	145	55.2
2019年3月期	631	6.3	230	6.9	335	2.0	324	16.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	11.74	
2019年3月期	26.17	26.13

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	8,298	3,525	42.5	284.73
2019年3月期	7,264	3,466	47.7	280.02

(参考) 自己資本 2020年3月期 3,524百万円 2019年3月期 3,466百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

新型コロナウイルス感染拡大が当社グループに与える影響を、現時点では合理的に把握することが困難であるため、未定としております。今後、連結業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。詳細については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報) .....	13
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、人手不足解消に向けて所得の改善の動きがみられるものの、夏季の天候不順の影響や2019年10月の消費税率引き上げもあり個人消費は厳しい環境で推移しました。

当社グループは中期の事業戦略として、「経営基盤の強化と企業価値の最大化」と「食品・飲料企業のアライアンスで事業再編・構築」を掲げ、全てのステークホルダーから信頼と支持を得る活動を着実に実施してまいりました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高25,496百万円（前年同期比 8.9%減）、営業利益558百万円（同 16.7%減）、経常利益656百万円（同 9.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益353百万円（同 29.5%減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載しております。

#### ① 自販機運営リテイル事業

自販機オペレーター業界におきましては、自販機設置台数の飽和状態が続くなか、コンビニ・ドラッグストアを巻き込んだ低価格販売競争の激化による収益性低下に加え、社会全体の人手不足を受けた人件費及び物流費の上昇や、夏季の天候不順の影響による売上減少により事業環境は依然として厳しい状況が続きました。新型コロナウイルス感染の拡大によるテレワークの実施などによる自販機での販売数量の減少も影響しました。

このような状況のもと、缶・ペットボトル飲料自販機に、カップコーヒー自販機やフード等の自販機をセットで展開する「スマートストア」の提案により、優良ロケーションの確保に努めました。加えて自販機設置先への季節商品の販売などスモールマーケットに向けた販売も進め、売上減少のカバーに努めてまいりましたが、売上高、セグメント利益とも計画に届きませんでした。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は14,911百万円（前年同期比 5.4%減）、セグメント利益は127百万円（同 49.2%減）となりました。

#### ② 飲料製造事業

2019年3月から宇都宮飲料工場のレトルトラインを休止したことや、夏季の天候不順によるRTD（低アルコール飲料）のOEM製造が影響を受けたことなどにより、売上高は前年比で大幅な減少となりました。この状況のなか、RTD以外の飲料製造の積極的な提案で挽回を図るとともに、戦略的生産体制の見直しと2年目を迎えたソフトパウチ飲料製造が計画以上の受注実績を獲得し、セグメント利益を押し上げてまいりました。

引き続きブランドオーナーに対し、製品の企画・デザインから製造までを一貫して提案するODM（オリジナル・デザイン・マニュファクチャリング）を強化し、ヘルスケア市場をターゲットに美容・健康をテーマにした製品づくりも進めてまいります。

また、当社ブランドのこだわり果汁チューハイ「ASEED ASTER（アシードアスター）」は2019年4月にシチリアレモン、2020年3月にフロリダグレープフルーツ、福島ももの果汁を使用した商品を追加し、沖縄シークワサーと併せて4種類発売しています。いずれもストレート果汁を使用したプレミアムチューハイとして好評を得ております。

この結果、飲料製造事業の売上高は10,297百万円（前年同期比 13.8%減）、セグメント利益は753百万円（同 6.6%増）となりました。

#### ③ 飲料サービスシステム事業

主要販売先であります遊技場業界は、射幸性の強い機種種の撤去に加え、受動喫煙問題など引き続き厳しい事業環境にあり、店内のお客様に本格コーヒーを景品として提供する「アオンズ・カード」の導入も厳しい状況が続いております。

この結果、飲料サービスシステム事業の売上高は123百万円（前年同期比 17.7%減）、セグメント利益は8百万円（同 19.5%減）となりました。

#### ④ 不動産運用事業

当社及びアオンズエステート株式会社を中心に不動産の運用を行っており、年々高まる物流への需要に備え、2019年9月に栃木県下野市の物流倉庫を取得し外部へ賃貸しております。2020年7月より「アシード ロジスティクスセンター（ALC）」として、グループ会社の物流センターとして利用することにより、コスト削減と物流サービスの向上を図るとともに、テナント型の物流施設として運用することで、新しい付加価値を持つ施設として活用してまいります。

この結果、不動産運用事業の売上高は163百万円（前年同期比 31.6%増）、セグメント利益は179百万円（同 0.7%増）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における流動資産は、5,166百万円となり、前連結会計年度末に比べ677百万円減少いたしました。これは現金及び預金の減少399百万円、受取手形及び売掛金の減少95百万円、商品及び製品の減少104百万円及び前払費用の減少72百万円等によるものです。また、固定資産は9,811百万円となり、前連結会計年度末に比べ、889百万円増加いたしました。これは建物及び構築物（純額）の増加546百万円、機械装置及び運搬具（純額）の増加224百万円、土地の増加311百万円及び長期前払費用の減少208百万円等によるものです。

この結果、総資産は14,978百万円となり、前連結会計年度末に比べ211百万円増加いたしました。

## (負債)

当連結会計年度末における流動負債は6,943百万円となり、前連結会計年度末に比べ799百万円減少いたしました。これは買掛金の減少203百万円、短期借入金の減少130百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加79百万円、未払金の減少115百万円、未払法人税等の減少97百万円、未払消費税等の減少123百万円及びその他の減少189百万円等によるものです。また、固定負債は2,878百万円となり、前連結会計年度末に比べ746百万円増加いたしました。これは長期借入金の増加874百万円、リース債務の減少72百万円及びその他の減少62百万円等によるものです。

この結果、負債合計は9,822百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円減少いたしました。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は5,156百万円となり、前連結会計年度末に比べ264百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する当期純利益による増加353百万円、剰余金の配当による減少136百万円及びその他有価証券評価差額金の増加51百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は34.4%（前連結会計年度末は33.1%）となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ429百万円減少し、当連結会計年度末には731百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、844百万円（前年同期比45.0%減）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益536百万円、減価償却費670百万円、投資有価証券評価損102百万円及び長期前払費用の減少額249百万円によるものであります。一方で、仕入債務の減少額203百万円、未払消費税等の減少額123百万円及びその他負債の減少額337百万円等による資金の減少がありました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,526百万円（同170.0%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1,449百万円、投資有価証券の取得による支出75百万円及び定期預金の預入による支出77百万円によるものであります。一方で、定期預金の払戻による収入82百万円等による資金の増加がありました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、258百万円（前年同期は756百万円の使用）となりました。これは主に長期借入れによる収入1,500百万円によるものであります。一方で、長期借入金の返済による支出546百万円、リース債務の返済による支出429百万円、短期借入金の純減額130百万円及び配当金の支払額136百万円による資金の減少がありました。

## (4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により経済活動の停滞や、外出自粛による消費動向などは予測が難しく、不透明感を増しております。観光・レジャー施設の営業自粛やテレワークによるオフィス内需要の減退により、自販機での販売数量の減少や需要減による飲料製造数量の減少が見込まれています。

一方、当社グループが製造、販売する飲料水は生活必需品として、安定的な供給は当社グループに求められる使命でもあります。従業員の健康・安全確保を第一に、新型コロナウイルス感染症による消費動向の変化や天候の変化を注視し、足元の的確な対応と将来を見据えた計画的な行動を図ってまいります。

このような事業環境を踏まえ、翌連結会計年度（2021年3月期）の連結業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大が当社グループに与える影響を、現時点では合理的に把握することが困難であるため、未定としております。今後、連結業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの外国人株主比率は現在0.6%であり、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移及び他社のIFRS採用動向を踏まえ、IFRSの適用について検討をすすめていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,192,160	792,989
受取手形及び売掛金	1,887,685	1,791,947
商品及び製品	1,538,789	1,434,540
原材料及び貯蔵品	179,494	208,796
前払費用	409,347	336,932
その他	646,474	609,285
貸倒引当金	△9,217	△7,608
流動資産合計	5,844,734	5,166,883
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,793,401	4,449,675
減価償却累計額	△2,684,878	△2,794,802
建物及び構築物(純額)	1,108,522	1,654,872
機械装置及び運搬具	3,496,688	3,791,061
減価償却累計額	△2,377,363	△2,447,323
機械装置及び運搬具(純額)	1,119,324	1,343,737
工具、器具及び備品	208,991	221,299
減価償却累計額	△185,298	△188,321
工具、器具及び備品(純額)	23,693	32,978
土地	3,580,514	3,892,016
リース資産	2,220,184	2,211,336
減価償却累計額	△1,152,277	△1,228,073
リース資産(純額)	1,067,907	983,263
建設仮勘定	4,835	56,693
有形固定資産合計	6,904,798	7,963,562
無形固定資産		
のれん	44,950	31,769
リース資産	21,449	50,846
その他	64,100	89,030
無形固定資産合計	130,500	171,645
投資その他の資産		
投資有価証券	602,478	663,411
長期貸付金	7,715	6,905
長期前払費用	709,589	500,706
繰延税金資産	153,622	153,405
その他	599,208	546,753
貸倒引当金	△186,030	△194,999
投資その他の資産合計	1,886,584	1,676,181
固定資産合計	8,921,883	9,811,390
資産合計	14,766,617	14,978,273

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,613,249	2,409,268
短期借入金	2,100,000	1,970,000
1年内返済予定の長期借入金	536,609	615,716
リース債務	384,121	369,240
未払金	794,231	678,423
未払法人税等	194,114	96,423
未払消費税等	180,206	56,643
賞与引当金	125,152	121,893
その他	815,309	625,859
流動負債合計	7,742,994	6,943,468
固定負債		
長期借入金	885,701	1,759,985
リース債務	795,457	723,025
再評価に係る繰延税金負債	34,464	34,464
役員退職慰労引当金	104,975	101,975
退職給付に係る負債	122,858	131,283
資産除去債務	2,800	4,100
その他	186,071	123,963
固定負債合計	2,132,328	2,878,797
負債合計	9,875,323	9,822,266
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	798,472	798,472
資本剰余金	1,012,778	1,012,778
利益剰余金	4,213,345	4,430,622
自己株式	△588,250	△588,250
株主資本合計	5,436,345	5,653,622
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△43,366	8,150
土地再評価差額金	△490,212	△490,212
為替換算調整勘定	△11,722	△15,711
その他の包括利益累計額合計	△545,302	△497,773
新株予約権	251	158
純資産合計	4,891,294	5,156,007
負債純資産合計	14,766,617	14,978,273



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	27,976,464	25,496,924
売上原価	18,434,655	16,436,906
売上総利益	9,541,809	9,060,018
販売費及び一般管理費	8,871,262	8,501,268
営業利益	670,546	558,750
営業外収益		
受取利息	1,790	2,365
受取配当金	5,262	5,525
持分法による投資利益	48,253	66,163
投資事業組合運用益	16,633	34,103
不動産賃貸料	6,388	12,289
受取賃貸料	12,150	9,260
受取保険金	14,505	3,470
為替差益	1,582	—
その他	43,869	52,901
営業外収益合計	150,437	186,080
営業外費用		
支払利息	59,501	52,562
その他	37,659	35,864
営業外費用合計	97,160	88,426
経常利益	723,823	656,403
特別利益		
固定資産売却益	43,095	1,184
投資有価証券売却益	15,751	—
為替換算調整勘定取崩益	3,676	—
特別利益合計	62,524	1,184
特別損失		
固定資産除却損	893	18,149
減損損失	3,542	327
投資有価証券評価損	—	102,788
特別損失合計	4,435	121,265
税金等調整前当期純利益	781,911	536,323
法人税、住民税及び事業税	232,802	202,663
法人税等調整額	47,440	△19,797
法人税等合計	280,243	182,866
当期純利益	501,668	353,457
親会社株主に帰属する当期純利益	501,668	353,457

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	501,668	353,457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49,736	51,517
為替換算調整勘定	△3,221	—
持分法適用会社に対する持分相当額	△11,974	△3,989
その他の包括利益合計	△64,932	47,528
包括利益	436,735	400,985
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	436,735	400,985

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	798,472	1,012,778	3,823,097	△588,232	5,046,115
当期変動額					
剰余金の配当			△111,420		△111,420
親会社株主に帰属する当期純利益			501,668		501,668
自己株式の取得				△17	△17
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	390,247	△17	390,230
当期末残高	798,472	1,012,778	4,213,345	△588,250	5,436,345

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額 金	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	6,369	△490,212	3,473	△480,369	251	4,565,996
当期変動額						
剰余金の配当						△111,420
親会社株主に帰属する当期純利益						501,668
自己株式の取得						△17
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△49,736	—	△15,196	△64,932	—	△64,932
当期変動額合計	△49,736	—	△15,196	△64,932	—	325,297
当期末残高	△43,366	△490,212	△11,722	△545,302	251	4,891,294

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	798,472	1,012,778	4,213,345	△588,250	5,436,345
当期変動額					
剰余金の配当			△136,180		△136,180
親会社株主に帰属する当期純利益			353,457		353,457
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	217,277	—	217,277
当期末残高	798,472	1,012,778	4,430,622	△588,250	5,653,622

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額 金	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	△43,366	△490,212	△11,722	△545,302	251	4,891,294
当期変動額						
剰余金の配当						△136,180
親会社株主に帰属する当期純利益						353,457
自己株式の取得						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	51,517	—	△3,989	47,528	△93	47,435
当期変動額合計	51,517	—	△3,989	47,528	△93	264,712
当期末残高	8,150	△490,212	△15,711	△497,773	158	5,156,007

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	781,911	536,323
減価償却費	629,674	670,355
減損損失	3,542	327
のれん償却額	72,487	13,108
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,366	7,360
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,490	△3,258
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	927	8,425
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	△3,000
受取利息及び受取配当金	△7,053	△7,890
支払利息	59,501	52,562
持分法による投資損益 (△は益)	△48,253	△66,163
投資有価証券売却損益 (△は益)	△15,751	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	102,788
投資事業組合運用損益 (△は益)	△16,633	△34,103
固定資産売却損益 (△は益)	△43,095	△1,184
固定資産除却損	893	18,149
為替換算調整勘定取崩益	△3,676	—
売上債権の増減額 (△は増加)	36,963	97,138
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△229,321	74,946
長期前払費用の増減額 (△は増加)	86,967	249,134
その他の資産の増減額 (△は増加)	△27,798	79,837
仕入債務の増減額 (△は減少)	151,055	△203,981
未払消費税等の増減額 (△は減少)	123,447	△123,563
その他の負債の増減額 (△は減少)	129,692	△337,218
その他	△6,025	△8,628
小計	1,680,330	1,121,465
利息及び配当金の受取額	78,122	52,677
利息の支払額	△59,408	△53,268
法人税等の支払額	△179,000	△298,418
保険金の受取額	14,505	3,470
助成金の受取額	—	18,562
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,534,549	844,487
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△717,876	△1,449,454
有形固定資産の売却による収入	102,202	1,185
のれんの取得による支出	△4,574	△3,260
無形固定資産の取得による支出	△40,450	△38,153
投資有価証券の取得による支出	△4,153	△75,541
投資有価証券の売却による収入	46,040	—
貸付けによる支出	△23,030	△15,350
貸付金の回収による収入	1,943	1,810
定期預金の預入による支出	△107,718	△77,672
定期預金の払戻による収入	144,595	82,958
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	37,770	47,350
投資活動によるキャッシュ・フロー	△565,251	△1,526,127

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△530,000	△130,000
長期借入れによる収入	1,100,000	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△720,716	△546,609
自己株式の取得による支出	△17	—
リース債務の返済による支出	△494,769	△429,023
配当金の支払額	△111,420	△136,180
財務活動によるキャッシュ・フロー	△756,923	258,186
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,614	△6,432
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	213,989	△429,885
現金及び現金同等物の期首残高	947,033	1,161,022
現金及び現金同等物の期末残高	1,161,022	731,137

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、自販機運営と飲料製造を中心とした複数の事業を営んでおり、その事業区分ごとに当社及び当社の連結子会社が単一もしくは複数の事業に従事する事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは「自販機運営リテイル事業」、「飲料製造事業」、「飲料サービスシステム事業」及び「不動産運用事業」の4つを報告セグメントとしております。

なお、それぞれの報告セグメントに含まれる主要な製品・商品及びサービスは以下のとおりであります。

- (1) 自販機運営リテイル事業 : カップ飲料、缶・ボトル飲料、紙パック飲料、食品等の自動販売
- (2) 飲料製造事業 : 炭酸・コーヒー系缶飲料、低アルコール飲料等の製造・販売
- (3) 飲料サービスシステム事業 : 飲料自販機利用カードの販売・運営・管理、遊技場内におけるコーヒーサービス
- (4) 不動産運用事業 : 不動産賃貸

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。また、セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,758,979	11,942,597	150,575	124,311	27,976,464	-	27,976,464
セグメント間の内部 売上高又は振替高	43,686	375,951	1,015	159,910	580,564	△580,564	-
計	15,802,666	12,318,549	151,590	284,222	28,557,028	△580,564	27,976,464
セグメント利益	251,770	706,443	10,780	177,871	1,146,865	△476,319	670,546
セグメント資産	5,868,756	6,136,795	22,454	1,964,597	13,992,603	774,014	14,766,617
その他の項目							
減価償却費	311,260	298,638	50	11,996	621,946	8,149	630,096
のれんの償却額	47,822	13,366	1,268	-	62,457	10,029	72,487
持分法適用会社への 投資額	-	178,629	-	-	178,629	-	178,629
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	230,503	295,482	-	47,629	573,615	31,132	604,747

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 売上高の調整額△580,564千円は、セグメント間の内部取引消去であります。
  - (2) セグメント利益の調整額△476,319千円には、セグメント間取引消去7,023千円、のれんの償却額△10,029千円、各セグメントに配分していない全社費用△473,312千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
  - (3) セグメント資産の調整額774,014千円には、各セグメントに配分していない全社資産825,347千円とセグメント間取引消去△51,332千円が含まれております。全社資産の主なものは、余剰運転資金（預金及び有価証券）及び管理部門にかかる資産等であります。
  - (4) 減価償却費の調整額8,149千円は、各セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。またのれんの償却額の調整額10,029千円は、各セグメントに配賦不能なものであり、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額31,132千円は、各セグメントに配分していない全社資産の増加額であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,911,753	10,297,775	123,854	163,540	25,496,924	—	25,496,924
セグメント間の内部 売上高又は振替高	37,108	246,157	856	154,695	438,818	△438,818	—
計	14,948,862	10,543,932	124,710	318,236	25,935,742	△438,818	25,496,924
セグメント利益	127,971	753,112	8,677	179,092	1,068,854	△510,104	558,750
セグメント資産	5,081,854	6,249,733	17,513	2,766,729	14,115,832	862,440	14,978,273
その他の項目							
減価償却費	297,663	323,539	80	35,102	656,386	14,391	670,778
のれんの償却額	13,503	693	921	—	15,118	△2,010	13,108
持分法適用会社への 投資額	—	215,465	—	—	215,465	—	215,465
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	322,539	503,718	100	892,079	1,718,438	17,476	1,735,914

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 売上高の調整額△438,818千円は、セグメント間の内部取引消去であります。
  - (2) セグメント利益の調整額△510,104千円には、セグメント間取引消去11,941千円、のれんの償却額2,010千円、各セグメントに配分していない全社費用△524,055千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
  - (3) セグメント資産の調整額862,440千円には、各セグメントに配分していない全社資産903,242千円とセグメント間取引消去△40,801千円が含まれております。全社資産の主なものは、余剰運転資金（預金及び有価証券）及び管理部門にかかる資産等であります。
  - (4) 減価償却費の調整額14,391千円は、各セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。またのれんの償却額の調整額△2,010千円は、各セグメントに配賦不能なものであり、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額17,476千円は、各セグメントに配分していない全社資産の増加額であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	395.08円	416.47円
1株当たり当期純利益	40.52円	28.55円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	40.46円	－円

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有していないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	501,668	353,457
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	501,668	353,457
普通株式の期中平均株式数(千株)	12,380	12,380
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	－	－
普通株式増加数(千株)	18	－
(うち新株予約権(千株))	(18)	(－)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	－	第3回新株予約権 (新株予約権の数 2,515個)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。